

横浜吉田中同窓会会報

(発行人 横浜吉田中学校同窓会 発行日 令和5年3月13日)

令和5年3月3日、母校体育館にて同窓会が後援する第8回落語観賞会が開催されました。当日はこの3月に卒業予定の約167名の3年生が生の落語を楽しみました。

今回は桂歌丸師匠5番目の直弟子の桂枝太郎師匠と若手の瀧川はちみりさんの二人にご出演いただきました。



落語を始める前に枝太郎師匠が落語をより知ってもらおうと生徒さんを高座にあげ扇子を使って蕎麦の食べ方の稽古をつけてくれました。(写真上)



続いて米盛校長さんが即興の小噺で一席伺うと日頃の校長先生の人柄とは違う雰囲気会場は喝采に包まれました。(写真左)

会場も寛いでくるといよいよ落語観賞会が始まりです。まず高座に上がったのが前座のはちみりさん。何でも学生時代映画クラブに入っていたので8ミリを文字って



付けられた芸名だそうです。アルバイトでトラの着ぐるみをきた男をネタにした『動物園』を熱演してくれました。(左下段)

続いて桂枝太郎師匠の高座です。枝太郎師匠は高校3年の時に地元(岩手県奥州市)で生の落語を聞いたことが落語家になるきっかけとなったそうで当落語鑑賞会には5回目の出演となります。枝太郎師匠は天神様の縁日



に出かけると何かとねだるやんちゃな子とそれを嗜める親との会話が滑稽な『初天神』を演じ 扇子一本と手拭一枚を巧みに使いこなし飴玉をしゃぶったり団子を食べたりの仕草で会場を沸かせてくれました。高座が終わると『コロナ禍で過ごした3年間困難な学校生活であったけどその困難を

乗り越え頑張ってきたことを新しい学校、社会へと進んだ時前向きに生かして下さい』と励ましの言葉を頂きました。令和4年10月14日関内ホールにて母校統合10周年記念の式典が開催されました。当同窓会からはお祝い品として『紅白幕10枚』を学校に寄贈させていただきました



※吉田中学校・富士見中学校並びに横浜吉田中学校卒業生の

令和4年10月14日関内ホールにて母校統合10周年記念の式典が開催されました。当同窓会からはお祝い品として『紅白幕10枚』を学校に寄贈させていただきました

※吉田中学校・富士見中学校並びに横浜吉田中学校卒業生の

方で同窓会活動をしていただける方を募っております

関心のある方は母校までご連絡下さい

